

ご入学・ご進級おめでとうございます

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。4月7日に134名の新生を迎え、令和5年度は、全校生徒数390名でのスタートとなりました。今年度も保護者の皆様と学校との連携を大切にしながら、お子さまを見守り、育てていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。下の文書は入学式の式辞ですが、先日の保護者会で配布した、学校経営計画により具体的な方策を示しておりますので、あわせてお読みいただきたいと思っております。全教職員がこの方針に沿って教育活動を進めてまいります。お気づきの点やご意見などがありましたら、いつでも学校にお問い合わせください。

式辞（一部省略）

ただいま呼名された134名のみなさん、入学おめでとうございます。みなさん一人一人の入学を心から歓迎します。今、目の前を見る皆さんの様子は、緊張した面持ちで、期待と不安が入り混じっているように見えます。そこで周りを見てください。左側には、皆さんの心と体の成長をしっかりと支え、徹底的にサポートをする先生方がいます。後ろには、これまでと変わらぬ愛情で、皆さんを包みこみ、励ましてくれるご家族がいます。また、右側にはいつも皆さんの安全と成長を願っている地域の方がいます。こうして、皆さんの周りには、この会場のようにこれからの3年間常にサポートしてもらえる人がいることを忘れないでください。ですので、不安よりも楽しみをもって、今感じている期待を膨らませ、目指した目標に安心して進んでください。

そして、来週からは、皆さんの入学を心待ちにしていた、頼りになる2、3年生と一緒に生活が始まります。学校は、皆さんを主役にして、関係するすべての人たちで作っていきます。私には、蓮沼中学校をこういう学校にしたい、皆さんをこのような生徒に成長してもらいたいという願いがありますが、それは私一人が願っても叶いません。みなさんが、どのような学校にしたいのか、どのような力を身につけて成長したいのか、その声を聞かせてください。「皆さんの声が聞こえる学校」「皆さんの良さと可能性を伸ばせる学校」私が作りたい学校の目標の一つです。そして、「自信と笑顔があふれる学校」にしたい、とも考えています。どうしたら、自信があふれるのでしょうか。自信をつけるためには、何かに挑戦したり、取り組んだりしてみないと始まりません。その結果、うまくいくこともあります、多くはうまくいかなかったり、失敗してしまったりすることもあるでしょう。すぐに成功したことによって得られる自信と試行錯誤しながら苦勞して成し遂げることによって得られる自信は、同じ自信でも皆さんの力となる大きさは、きっと違うでしょう。そのために、どうか何事も失敗を恐れずチャレンジしてください。何度でもあきらめずに挑戦してください。

もうひとつ、「笑顔があふれる」ためにはどうすればいいのでしょうか。笑顔になれるためには、安心安全が何より優先します。そのために、皆さんには美しい言葉をたくさん使ってほしいと思います。言葉は、こだまのように広がっていきます。この134人の仲間の中に、とげとげしい言葉を広げていくのか、美しい言葉を広げていくのかで、学校の雰囲気は、大きく変わります。笑顔あふれる生活にするためにも、「おはようございます」と自分から挨拶をしてください。「ありがとうございます。」と心から感謝の言葉を伝えてください。「大丈夫？」と仲間を気遣ってください。励ましてください。「一緒にやろう。」と勇気づけてください。そんな美しい言葉を、学級、学年、学校中に広げましょう。

そして本校は、特別支援学級設置校でもあります。I組と呼んでいます。アルファベットのIです。I組の生徒は、たくさんの個性、特性をもって、何をするにもひたむきに頑張る生徒ばかりです。この姿は、私たちに多くのことを気づかせてくれます。まさに愛すべき学級のI組です。これからの3年間、お互いに学び合いながら、交流をしてください。

また、蓮沼中学校では、担任の先生が一人ではなく、学年の先生全員が担任の先生です。最初は、どの先生に聞けば良いのか戸惑うこともあるかもしれませんが、困ったときは、自分が話しやすいと思った先生など、だれでもいいので遠慮なく話してください。私も含めて先生方は皆さんにたくさん話しかけていきます。

最後になりますが、保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。本日から、六十八年目を迎える、伝統ある蓮沼中学校の生徒として、責任をもってお預かりいたします。蓮沼中学校に入学させて良かった、楽しく充実した学校生活だった、たくさんの成長を実感できたと思ってもらえるよう、教職員一同、力を結集して全力で支えていく所存です。

本校の教育に、皆様のご理解とご協力を申し上げ、式辞といたします。